

## 第90回 GAORA 番組審議会記録(2025 年 9 月開催)

第90回番組審議会が9月16日(火)に開催され、対象番組について審議を行い、委員の皆様から以下のご意見をいただきました。

### <対象番組> 斉藤ブラザーズのDOOMなクッキング(#1～#4)

初回放送 #1・2 2024 年 12 月 28 日(土) 7:30～7:45・7:45～8:00

#3・4 2025 年 7 月 26 日(土) 13:30～13:45・13:45～14:00

### <番組概要>

プロレス界に新たな風を吹き込む全日本プロレスの双子レスラー、兄・斉藤ジュンと弟・斉藤レイ。8年間力士として活躍した経歴を持つ二人は、2024 年にはプロレス大賞最優秀タッグ賞を受賞。今年 2 月にはなんと CD デビューを果たすなど、その勢いはとどまることを知らない。二人がファンに愛され人気を集める理由は、“最恐タッグ”の異名を持つパワフルなファイトスタイルだけではなく、リング外の素顔にある。この番組では、新時代の“こわかわ”で人気上昇中の二人が力士時代に培った自慢の料理を披露！さらに料理をしながら斉藤ブラザーズの可愛い一面を引き出し、二人の魅力を存分にお届けする。

### <委員長総括>

- 全体としては、ほっこりした印象を与える番組であった。各委員、この点を一番の評価ポイントとして挙げていた。ただ、本番組は、料理番組なのか、バラエティ番組なのか、斉藤ブラザーズの推し活番組なのか、この辺りがフワツとしていることから、審議委員の見方、指摘ポイントがそれぞれに違っていったように感じた。次に第三弾を作るのであれば、目指す方向性によって工夫のしどころが変わってくるはず。スポーツ専門チャンネルとして、編成上、どのような位置付けの番組にしていくのかによって、番組尺を含めて改善の方向性を追求してもらいたい。今後もGAORAらしい『魅せる番組作り』を期待する。

### <審議意見> 委員の主な意見は次の通り

- 斉藤ブラザーズの人間的な魅力がよく伝わってきて、全体を通してほんわかした和やかな番組になっていた。プロレス自体の魅力は映像が短くあまり伝わってこなかったが、力士時代の写真があったことで経歴がよくイメージでき、“こわかわ”で人気上昇中があることがよく分かった。ファンをスタジオに集めての収録など新しい取り組みもよかった。会場は推し活のような雰囲気があり、ファンサービスにも繋がったのであろう。
- 兄弟それぞれのキャラクターがよく表現されており、二人の掛け合いにも好感が持てた。“レスラーは荒くれもの”という勝手な先入観とは違い、商店街の人たちとのフランクな出会いや対応は礼儀正しく紳士的で好印象。二人とも朗らかでコミュニケーション能力が高く、番組としていい人選であったと思う。料理面では、細かいレシピはともかく、いい意味での“男の料理番組”になっていた。また、公開収録には女性ファンが多く、女性人気の高さが伝わってきた。

- 企画アイデアはおもしろかったが、番組構成としてはもうひと工夫、ふた工夫欲しかった。料理番組である以上、料理の評価として他の人が食した感想やコメントが欲しいところ、完成した料理を本人たちが食べて終わってしまったところには疑問が残った。また、食材の選択から調理の進行に沿って専門家の解説やコメントが入れば更に良かったのではないか。そのあたりの工夫があれば、彼らの良さをもっと引き出せた番組になったように思う。
- 二人ともトークが上手く掛け合いが心地よく、紳士的な振る舞いに好印象をもった。二人の人間性を感じとることができ、非常に楽しく気持ちよく視聴することができた。食材調達のロケ地は何故この商店街であったのか、思い出話なりのコメントが聞きたかったところ。最初の鍋料理はともかく、公開収録時の料理は、一般的なカレーではなく、彼らの特徴の出る料理を選択して欲しかった。是非、第三弾に期待したい。
- 見終えた感想としては、明るく気持ちのいい番組であった。ひとえに兄弟二人のキャラクターによるところが大きいのであろう。画面を通して二人の性格の良さが伝わってきた。細かな指摘としては、斉藤ブラザーズとは何者なのか、15分という限られた枠とはいえ、彼らを紹介するカットが各話にあれば尚よかった。30分番組の可能性はなかったのか、その方が作り込みやすかったのかも知れない。また、ファンを入れた公開収録であったので、最初の盛り上がりやファンの熱量を画面上、最後まで引っ張る工夫が欲しかった。収録番組においては、現場の臨場感をいかに維持し伝えるのが課題である。もう一点、楽しんでいるお客さんの背後に関係者スタッフの顔がチラチラ見えていたところは、興ざめしてしまう。画面には映り込まないような配慮が欲しかった。
- 制作意図にあるとおり、彼らの人間的な魅力がより多くの視聴者に伝わる番組になっていたと評価する。レスラーのイメージとのギャップを感じ、“こわかわ”の魅力に触れることができた。彼らの言葉遣いや所作は非常に丁寧であり、プロレスしている映像がもっとあれば、そのギャップをより強く感じとれたのではないか。また、斉藤ブラザーズのプロフィールがもっと知りたかった点で、どちらが兄ジュンで弟レイなのか、画面上でのフォローが欲しかったところ。料理番組としては、自分も作ってみたいという思いもあり、レシピ表示があればよりよかったと思う。また、貴重な公開収録であったので、お客さんとの言葉のキャッチボールや掛け合いがあってもよかったのではないか。

#### [審議委員]

種子田穰委員長、影山貴彦副委員長、黒田勇委員、藤井純一委員、沢松奈生子委員、森本志磨子委員、石塚徹委員（以上7名）

以上、GAORAでは、委員の皆様の貴重なご意見を、より良い番組をお届けしていくために活用させていただきます。